

2022 年 10 月 20 日

各位

株式会社 コマース One ホールディングス
株式会社 フューチャーショップ**クレジットカード不正利用の傾向に合わせて動的に対策する****「AI 不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」の提供を開始。**

～ 「futureshop」を利用する事業者が独自のルールを設定することにより、不正利用を未然に防止 ～

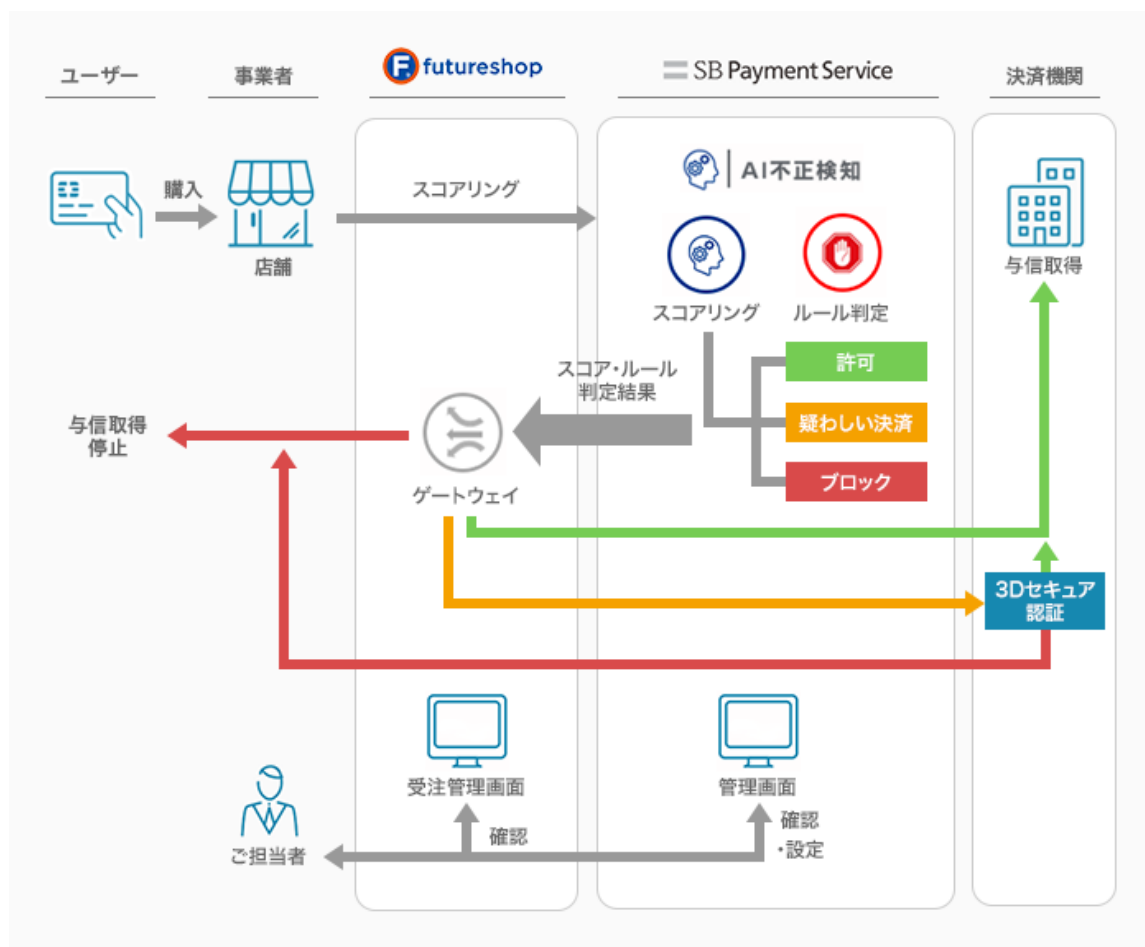
株式会社コマース One ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：岡本 高彰、証券コード：4496）のグループ会社である、SaaS 型 EC サイト構築プラットフォーム「futureshop」を提供する株式会社フューチャーショップ（本社：大阪市北区、代表取締役：星野 裕子）とソフトバンク株式会社の子会社である SB ペイメントサービス株式会社（以下「SBPS」）は、フューチャーショップが提供する SaaS 型 EC サイト構築プラットフォーム「futureshop」および「futureshop omni-channel」（以下、総称として「futureshop」）で、クレジットカード決済の不正利用を検知する有料サービス「AI 不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」を、2022 年 10 月 20 日（木）に提供開始しました^{※1}。

昨今の EC 市場の急拡大に伴って、クレジットカード決済における不正利用は多様化しています。事業者は販売商材・価格・ターゲットごとに不正利用傾向を分析し、店舗独自の不正利用対策が必要になってきています。それを実現するため、フューチャーショップと SBPS は、「futureshop」を利用する事業者向けに「AI 不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」を有料で提供するに至りました。

これまで、「futureshop」では、クレジットカード決済で疑わしい取引があった場合に「futureshop」の受注管理画面の該当取引にアラートが表示される「AI 不正検知 for futureshop」（提供：SBPS）を無料で利用でき、事業者が不正な取引を早期発見することが可能でした。今回新たに提供を開始した「AI 不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」では、「AI 不正検知 for futureshop」の機能に追加して、店舗ごとの不正利用傾向に合わせた独自のルール設定を行うことができるようになり、店舗独自の動的な不正利用対策が可能になりました。

※1 「AI 不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」は有料オプションです。お申し込みをご希望の場合は、SBPS までお問い合わせください。また、「AI 不正検知 for futureshop」および「AI 不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」はクレジットカード決済での注文で利用できます。その他の決済手段での注文では利用できません。

「AI不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」について



「AI不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」は、「AI不正検知 for futureshop」で提供している決済ごとのスコアリング機能やアラート機能、属性情報確認に加えて、事業者が分析した不正利用傾向に基づき、「AI不正検知」管理画面から独自のルールを設定する機能により、店舗独自の動的な不正利用対策が可能になる有料オプションです。「AI不正検知 for futureshop」と同様に、ユーザーがECサイトで決済を行うごとにSBPSへスコアリングをリクエストし、SBPSは、スコアとその理由を返却し、疑わしい取引については「futureshop」の受注管理画面にアラートを表示します。SBPSの「AI不正検知」管理画面から当該取引についてカード属性やデバイス情報などを確認し不正利用傾向を分析することが可能ですが^{※2}、「AI不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」では、事業者が分析した不正利用傾向に基づき、「AI不正検知」管理画面から独自のルール設定を行うことで、店舗独自の動的な不正利用対策が可能になり、受注チェックの負荷軽減や商品出荷判断の効率化が期待できます。

【 AI不正検知（アドバンスプラン） for futureshop を利用した動的な不正利用対策例 】

- 独自ルールに合致した取引をブロック
- 独自ルールに合致した取引だけにEMV 3-Dセキュア（3Dセキュア 2.0）の本人認証を追加
- 独自ルールに合致した取引をアラート（「AI不正検知」管理画面で確認可能）

^{※2} 2022年7月から順次提供を開始しました。

「AI不正検知 for futureshop」との機能比較

	「AI不正検知 for futureshop」	「AI不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」
利用方法	<ul style="list-style-type: none"> 「futureshop」でSBPSのオンライン決済サービスを利用する事業者は標準機能として利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> SBPSへの申し込みが必要
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーがECサイトで決済を行うごとにスコアとその理由を返却 疑わしい取引について「futureshop」の受注管理画面に「照会推奨」のアラートを表示 「futureshop」の受注管理画面で不正スコアリングIDを確認のうえ、「AI不正検知」管理画面で当該決済の決済情報や属性情報を確認可能（IPアドレスやカード発行国情報など） 	<ul style="list-style-type: none"> 「AI不正検知 for futureshop」のサービス内容が利用できるのに加えて、事業者が分析した不正利用傾向に基づき、独自のルール設定を行うことで、自動で疑わしい取引を停止するなどの動的な不正利用対策が可能
提供開始日	<ul style="list-style-type: none"> 2021年9月28日（火） 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年10月20日（木）
料金	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用：0円 月額費用：0円 トランザクション費用：0円 	<ul style="list-style-type: none"> 初期費用：0円 月額費用：3万円 トランザクション費用：0円
こんな事業者におすすめ	<ul style="list-style-type: none"> 疑わしい取引を検知するための判断材料が欲しい 疑わしい取引の決済情報を細かく確認したい 手軽に不正利用対策を実施したい 	<ul style="list-style-type: none"> 不正利用対策ツールの標準設定では検知できない不正利用のパターンが多い 商品出荷時にすべての疑わしい取引に対して本人確認を行うと対応負荷がかかるため、特定の取引を事前にブロックして対応工数を削減したい 転売目的の不正取引を事前に排除して、新商品などの発売時に商品が購入できないといったトラブルや風評被害のリスクを軽減したい

「AI不正検知（アドバンスプラン） for futureshop」の詳細はこちらをご確認ください。

<https://www.future-shop.jp/plan/sbps.html>

「futureshop」で利用できる SBPS の決済手段

クレジットカード決済	Visa、Mastercard、JCB、American Express、Diners Club International
ウォレット決済	PayPay（オンライン決済）
キャリア決済	ソフトバンクまとめて支払い、d 払い、au かんたん決済
コンビニ決済	セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート

フューチャーショップと SBPS は、今後も事業者のニーズにお応えする利便性の高いサービスを提供していきます。

- 掲載されている画像はイメージです。実際と異なる場合があります。
- 記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。
- 記載されている価格は税抜き価格です。

なお、本件による、2023 年 3 月期の当社連結業績への影響は、軽微であると見込んでおります。

会社概要

■ SB ペイメントサービス株式会社

代表者	代表取締役社長 兼 CEO 榛葉 淳
所在地	東京都港区海岸 1-7-1 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー
設立	2004 年 10 月 1 日
事業内容	決済サービス、集金代行および企業の計算事務代行、アクワイアリング（カード加盟店業務）事業、イシューング（カード発行業務）事業
URL	https://www.sbpayment.jp/

■ 株式会社フューチャーショップ

フューチャーショップが提供する futureshop (<https://www.future-shop.jp/>) シリーズは、未来に向けたコマース戦略を創造する SaaS 型 EC サイト構築プラットフォームです。

国内向け futureshop は CMS 機能 commerce creator で高いデザインカスタマイズの自由度と更新性を実現している他、ロイヤルティマーケティングに取り組める豊富な機能を有しています。オムニチャネル対応には実店舗と EC の顧客統合を行い、さらにきめ細やかなデジタルマーケティングを目的とした、O2O を実践するポイント統合、実店舗在庫表示機能も備えた「futureshop omni-channel」がご利用いただけます。

また、プラットフォーム自体の機能が充実しているだけでなく、他システムとも多数連携し、柔軟性や拡張性にも優れています。“売上を創る E コマースプラットフォーム”を目指し、プロユースに応える高機能であることにこだわり、EC 事業者さまの「やりたいこと」にとことんお応えします。

代表者	代表取締役 星野 裕子
所在地	大阪府大阪市北区大深町 4 番 20 号グランフロント大阪 タワーA 24 階
設立	2010 年 3 月 （株式会社フューチャースピリッツより分社）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">電子商取引（E コマース）支援サービスの提供SaaS 型 EC サイト構築プラットフォーム「futureshop」企画・運営・開発
URL	https://www.future-shop.jp/

■ 株式会社コマース One ホールディングス

代表者	代表取締役 岡本 高彰
所在地	東京都千代田区九段北 4 丁目 2 - 1 市ヶ谷スクエアビル
設立	2006 年 8 月
URL	https://www.cm-one.jp/